

やんばらあ〜わっと 2013年7月 第24号

たいけんがくしゅう こんねんど はじ
体験学習、今年度も始まりました！！

さいぼう さいせいりょうこうえん
iPS細胞による再生医療講演

にっぽんかいぎぜんこくしゅうかい こうべきょうかい い
DPI日本会議全国集会 in神戸協会) に行ってきました

体験学習、今年度も始まりました！！

みな
皆さん、こんにちは。

こんねんど しゃかいふくしきょうぎかい みるせいいん
今年度も社会福祉協議会や民生委員

とう しょうちゅうだかだいがく せいかつしょう
等と、小中高大学での、生活障がい

しゃたいけんそうごうがくしゅう こう おこな けいかく
者体験総合学習を10校で行う計画

をしています。

しょう も ぼく じりつせいかつたいけん お た しゃかいさんか しょう こま
障がいを持った僕の自立生活体験や生い立ちのこと、社会参加する上で困る

ことさまざま ことがら つた
事様々な事柄について伝えていきます。

がくせいたち こうわ くるまいす の たいけんがくしゅう
学生達が、講和や車椅子を乗り体験学習を

とお しょう も かた としよ ちいき
通して障がいを持つ方や、お年寄りが地域で



せいかつ なか かか こんなんとう りかい なら おも ころは かく
生活していく中で抱える困難等を理解すること並びに思いやりの心を育み、

はいりよてき びょうどう ふつう せつ こんご かつどう きよ こと
配慮的なことを平等に普通に接していけるように、今後の活動に寄与する事や

きょういく ぶんや とも がくしゅう まな かんきょう こと もくてき
教育の分野でも共に学習し学びあえる環境になっていけるようにという事を目的

じっし
とし実施します。

しゃかい いちいん がくせいたち ちから か みな かぞく つた
そして、社会の一員として学生達の力も借りながら、皆さんから家族に伝えていく

しゃかいしげん じゅうじつ きょうせい しゃかい じつげん ちょうわ
ことで、社会資源が充実していけるように、共生の社会の実現にむけ調和し

い
ていけるように行っています。

しゃかい きょういく
これからの社会はインクルーシブ教育になっていく

こと ほと
事が求められています。



IPS細胞による再生医療講演

にちどようび おきなわ かいぎとう けいおうぎじゅくだいがくいかくぶ
5月25日土曜日、沖縄コンベンションセンター会議棟に慶應義塾大学医学部

きょうじゅ おかのひでゆき こうえん き い
教授の岡野栄之さんの講演を聞きに行きました。

こうえんかい おきなわけんせきすいそんしょうしゃきょうかいほうじんかきねん おこな
この講演会はNPO沖縄県脊髄損傷者協会法人化記念で行われ

えんだい さいぼうぎじゅつ もち せきずいそんしょうさいせいりょうけんきゅう
ました。演題が「iPS細胞技術を用いた脊髄損傷再生医療研究」とい

せきずいそんしょうさいせい かのうせい きょうみ
うことで脊髄損傷再生の可能性がどれくらいあるのか、とても興味がありました。

いりょうぎじゅつ せきずいそんしょう いっしょうなお い
これまでの医療技術では脊髄損傷は一生治らないと言われていましたが、この

ひ はなし かんさいぼう さいせいりょうぎじゅつ しょう かいふく みこ
日のお話では、幹細胞による再生医療技術なら障がいの回復が見込まれる

こと さいぼう もち さいせいりょう せきずいそんしょう びょう
との事です。iPS細胞を用いた再生医療なら脊髄損傷やパーキンソン病、

しんきん ふさが きん どうによびょうとうさまざま しょう なお はたら
心筋? 塞、筋ジストロフィー、糖尿病等様々な障がいを治す働きがあり、

けが せきずいそんしょう まひ かしきのうしょう どうつか どうぶつ
怪我で脊髄損傷による麻痺した下肢機能障がいのサルやネズミ等を使った動物

じっけん きのかいふく すで せいこう ぎじゅつ にんげん もち
実験では、機能回復に既に成功しています。ですが、この技術を人間に用いた

ばあいがん かのうせい にんげん しゅじゅつ にんか
場合癌にかかる可能性があるので、人間への手術はまだ認可されていないようで

こんご けいかく しょう じゅしょう きょうとだいがく やまなかしんやきょうじゅ
す。今後の計画ではノーベル賞を受賞した京都大学の山中伸弥教授らが

げんざい びちく じゅんび こうひんしつ さいぼう りょう ねん りんしょう
現在、備蓄を準備していて高品質のiPS細胞を利用し、2017年にも臨床

けんきゅう かんじゃ にん たいしょう つ こと りんしょうけんきゅう
研究に患者10~20人を対象に、こぎ着けたいとの事でした。臨床研究が

はじ ねんご こと はや あんぜんせい かくにん けんきゅう すす こと
始まるのが4年後という事ですが、早く安全性を確認し研究が進む事を

きたい
期待したいものです。

じこ びょうき げんいん しょう かた きも かんが うしな
事故や病気で、なんらかの原因で障がいになった方の気持ちを考えると、失ったも

おお くる おも さいせいりょうぎじゅつ はってん こと
のはとても大きな苦しみだと思うので、再生医療技術が発展していく事により、

いちどうしな きのう と もど みらい す ちか き
一度 失った機能を取り戻す未来が直ぐ近くまで来ています。

さいせいりょうぎじゆつ りんしょうけんきゅう すす ほ おも
すぐにでも再生医療技術の臨床研究を進めて欲しいと思いました。

DPI日本会議全国集会在神戸（+メインストリーム協会）に行ってきました

にち にち にちかん こうべ
6月15日から16日の2日間にわたり、神戸にて

につぼんかいぎぜんこくしゅうかい おこな き
DPI日本会議全国集会在行われ、希

らら どうじしゃ めい かいじょしゃ めい
輝々からは当事者2名、介助者2名、あわせて



めい おこな にちめ ざんねん
4名で行ってきました。1日目は残念ながら

さんか にちめ さんか
参加できませんでしたが、2日目はしっかり参加しました。

ぜんこくしゅうかい にちめ かいじょう とうちゃく うけつけ ふきん こんざつ
全国集会在2日目、会場に到着するとすでに受付やエレベーター付近は混雑

かいかい ない はい さんかしゃ
がはじまっていて、開会するころにはホール内に入りきらない参加者がロビーにまであふれ

たいへん じょうきょう われわれ おきなわ ひ
ているような大変にぎやかな状況でした。我々のはるばる沖縄からこの日のために

ぜんこくかくち あつ
かけつけたようにおそらく全国各地から集まっているようでした。

ごぜんちゆう ひがしとしひろ
午前中のプログラムは、東俊裕さんによる

さべつかいしょうほう ほうこく こっかいぎいん
差別解消法についての報告と国会議員を

まじ ひがし はなし き
交えてのシンポジウムでした。東さんのお話を聞

おも ひがし
きながらつくづく思ったことは、東さんはなんてかつこ

ひがし くに そしき なか たいへん
いいひとなんだろう、ということでした。東さんはきっと国の組織の中で大変めんどくさい

しごと しんぼうづよ おも ひがし ひがし
仕事を辛抱強くしてきたのだらうと思いました。もちろん東さんだけではなく東さんと

いっしょ せいどかいかく さぎょう たいへん くらう
一緒に制度改革のための作業をしてこられたみなさんは大変なご苦労をなさったことと

おも
思います。

ぼく まいにち おきなわ じみ しごと
僕は毎日ここ沖縄で地味に仕事をしていますが、

まいにち しごと すこ ひがし
この毎日のCILでの仕事が少しでも東さんたち

やく た おも
の役に立っていたらうれしいなと思いました。

ごご こうきょうせつ こうきょうこうつう か ぶんかかい しゅつせき
午後からは公共施設、公共交通のバリアフリー化についての分科会に出席し

さいしん かん ほうりつ ちいき じっさい こうつう
て、最新のバリアフリーに関する法律について、また、地域で実際におこっている交通バ

かん もんだい たい とく ほうこく き はじ けん
リアフリーに関する問題とそれに対する取り組みについての報告を聞きました。初めて県

がい くるま かた でんしゃ りよう えきこうない
外で車いすの方といっしょに電車を利用したとき、駅構内のエレベーターやスロープな

せつび しよくいん たいおう な しょうじき すす
どの設備、また職員の対応の慣れていることに、正直ここまで進んでいることをまったく

し たいへん
知らなかったわたしは大変おどろいたものでした。



しかし、この日の話^{ひ はなし}を聞いて、CILの長く地道な^{なが じみち}

運動^{うんどう}のすえに今の状況^{いま じょうきょう}があつて、現在もこの^{げんざい}

地道な運動^{じみち うんどう}の途中^{とちゆう}であり、それこそが毎日僕たち^{まいにちぼく}

が地味に取り組んでいる仕事^{しごと}なんだということがよくわかり
ました。



こうして神戸での研修^{こうべ けんしゅう}を終えましたが、せっかく神戸まで来ましたので、翌日は西宮の^{こうべ き よくじつ にしのみや}

メインストリーム協会^{きょうかい}におじゃましてセンターの見学^{けんがく}をさせていただいてしまいました。

DPIのことが終わったばかりでまだ大変お忙しい^{お たいへん いそが}

さいちゆう 最中^{さいちゆう おも}ではなかったかと思いますが、大変快く^{たいへんころよ}

むか われわれを迎えてくださって、メインの皆様、本当に^{みなさまほんとう}

ありがとうございました。お陰様^{かげさま}でなぜだかとても元気^{げんき}

をもらって沖縄^{おきなわ}に帰ることができました！またお会いしたいです！^あ

